

中学校教員本採用

～諦めたくないという信念から～

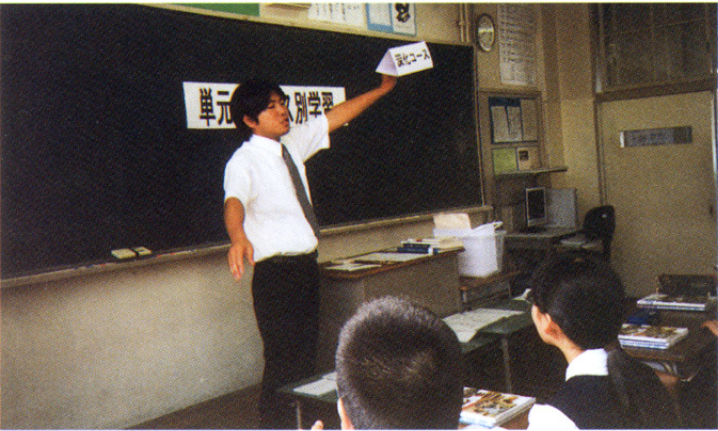
伊藤孝行
(平成11年卒業)

中学校の頃から夢見ていた教員になれたのは、今年の四月のことです。六回目の挑戦でした。六回の挑戦を支えてくれたのは、やはり、臨時採用教員として勤めた三校の経験と絶対諦めたくないという信念でした。臨時採用教員は長くて一年間という期限がついています。その短い期間に、いかに生徒と接するか、授業をどう展開するか、あらゆる悩みを先輩や同年代の先生方につづけました。当然、未解決のものもないわけではありません。しかし、悩んだ分、真剣に考えた分、本採用に近づけたと今になって思います。また、任期を終える離任式で生徒からこんな言葉をもらいました。「先生、まだ一年しかいないのにいなくなるの」とか「絶対本採用になってまた戻ってきてね」などです。この声に何度も救われました。そして、絶対諦めないという信念は、ここから生まれました。

実際本採用になって、現在は一年生の学級担任をしています。臨時採用時代には無かった悩みも出てきました。それは、学級を経営していくということです。一年間の見通しを持ち、生徒をどう成長させるか、いつ、どのようなことを考えさせ、教えるか、悩みは尽きません。しかし、私の周りにはたくさんの心強い同僚の先輩方がい

ます。一人で悩まず相談しながら、少しずつ力をつけていきたいと考えています。今年一年は日々勉強です。さて、次はこれからの目標ということになりますが、当然、卒業生を送り出すことです。臨時採用の期間は前述のとおり、一年限りの生徒とのつながりでした。それが心残りでもありました。しかし、本採用となれば、話は別です。三年間という長い期間の中で、生徒の成長を見守ることができるのです。生徒と一緒に、たくさんのかたちを話したり、考えたりできる、このことが、私の夢でもありますので…。ただ、忘れてはならないこともあります。それは、三年間生徒と関わっていくための力量と保護者の方から預けられること、一つだけ述べたいと思います。それは、とにかく「諦めないこと」です。これから何かに挑む時に共通していえることではないでしょうか。妥協せず何かに向かって走り続けることが必要です。決して何か(誰か)のせいにはせず。自分の信念を貫いてください。ファイト!富士大生!

最後に、僭越ながら後輩に贈る言葉ということで、一つだけ述べたいと思います。それは、とにかく「諦めないこと」です。これから何かに挑む時に共通していえることではないでしょうか。妥協せず何かに向かって走り続けることが必要です。決して何か(誰か)のせいにはせず。自分の信念を貫いてください。ファイト!富士大生!



OBから一言

平成3年卒業
トヨタウッドユーホーム株式会社
管理室 総務人事グループ
課長 高野 正利



～結果はプロセスで決まる～

大学を卒業して13年。在学中4年間硬式野球部に所属していた私には、野球が師であり恋人のようなものでした。恋人ならもう少し大切にすれば良かったなと今頃になって反省しています。私にとって母校は、大変な表現かもしれませんが、育ての親みたいな存在です。また、富士大学の環境の良さに気づくのは卒業してからかも知れません。環境の良さとは設備などの物質的なものではなく、私を取巻いていた人達です。

仕事の話になりますが、卒業後、私は栃木県宇都宮市にあるトヨタウッドユーホーム(株)に勤務し、現在人事の仕事に携わっています。就職活動をしている学生からは、よく「どんな人材を求めていますか」と質問されますが、私が決まって返す答えは、貴方はどんな人になりたいかです。「企

業は人なり」一人ひとりの持ち味や個性が企業や社会を司ると考えます。

最近の会社を取巻く人事制度は、年功序列から成果主義に移り変わろうとしています。会社に長く在籍していても給与は上がらず、結果を残さなければ評価されない時代です。当然の考え方も知れません。しかし、結果を出すためには偶然性ではなく、結果に至るプロセスが非常に重要であり、殆どの結果は準備で決まると言っても過言ではありません。日々の努力の積み重ねと強い信念が良い結果を生みます。また、目標(結果)をどう自分で設定するかも重要です。与えられた仕事だけではなく、自らチャレンジし未知の扉を開いていくことが求められているように感じます。

富士大学花巻市民セミナー

企業の社会的責任を考える

9月15日(水)、第21回目を迎えた伝統的「富士大学花巻市民セミナー」(主催:富士大学附属地域経済文化研究所、花巻市教育委員会)が今年も開講し、文化の薫り高い花巻市内の市民約40人が「一日間大学生」として、計6回(毎週水曜日)の講義を受講した。新たな試みとして今回は「企業の社会的責任を考える」との統一テーマを設定。経済系単科大学の特色をアピールするものとなった。今回の講師とテーマは次のとおり。1.石橋忍篤教授「経済犯罪・企業・ビジネスの犯罪について」、2.梶



村悠教授「地域産業の活性化とその課題」、3.大橋敬三教授「ビジネス・ジャッジメント・ルール(経営判断の原則)」について、4.池田源吉助教授「高度情報化社会における企業活動」、5.藤原隆男教授「明治期における産業移転大作戦」、6.寒川尚周教授「企業の社会的責任と社会保障制度」。受講者からは、「今回は統一テーマのもとに講義が構成された事により、例年より充実した講座となった(大成功)」、「基本的テーマ」企業の社会的責任」が取り上げられたことは大変によかった」、「来年度も期待します」などの声寄せられた。

留学生 日本語スピーチコンテスト参加

第14回外国人による日本語スピーチコンテスト

平成16年10月22日(金)、プラザおでってを会場に盛岡ソフタクラブが主催する「第14回外国人による日本語スピーチコンテスト」が開催された。

5名の審査員のもと、10カ国19名が参加しコンテストが実施された。発表後は、盛岡アマチュア・マジシャンズクラブによるアトラクションなど交流行事も行われた。



■今回スピーチに参加した5名の本学留学生を紹介しす

「アルバイトをとおしてみた日本社会」 王 雲飛 (中国)
「テレビと共に」 賀 青桃 (中国)
「私の人生について」 賈 清華 (中国)
「大いなる明日のために」 王 江 (中国)
「中国食文化と日本食文化の比較」 孫 正鈺 (中国)

父母懇談会

平成16年度富士大学父母懇談会が9月7日から9月18日までの間、本学会場を含め、東北、関東合わせて6地区で開催されました。父母懇談会は、家庭と大学の連携を密接にすることを目的として実施され、父母と教職員が直接交流できる唯一の機会となっています。

懇談会は、学生時代の振り返りながら、就職活動の体験談や社会人としての苦労話などをしていただき、参加した父母から好評を得ました。

学科別の個人面談では、学業成績、学生生活、就職等について各担当者と保護者の間で膝を交え熱心な懇談が行われ、父母の皆さんと教職員との交流ができ、盛会のうちに終了することができました。関係各位のご協力に感謝致します。



花巻まつり

「花巻まつり」が9月10日～12日の3日間盛大に行われた。400年の歴史と伝統を持つ「花巻まつり」は、今年、市制50周年の記念事業として関東など他県から20台あまりの神輿の参加もあって例年にない盛り上がりを見せた。各町内から出された山車にも趣向が凝らされ華やかに装飾されたその姿は、今年も全国から集まった大勢の観客からの話題を呼んだ。本学では3台の神輿を繰り出し、他団体に負けない若さと熱気を発揮し注目の的となった。パレード開始前には、ソフトボール部の演出でダンスを披露し富士大神輿の志気を高めパレードに参加することができ、今年も無事終了することができた。



全国高校生童話大賞

第4回 受賞者決定

今年で4回目を迎える「全国高校生童話大賞」は、平成16年6月1日～9月15日の応募期間に北海道から沖縄まで全国の高校生から作品が寄せられました。応募高校数は369校、作品数は1355篇と前回を上回る記録となりました。

回を重ねるたび、一人一人の作品のレベルもアップしており、審査員は選抜に頭を悩ませていました。

受賞者紹介

◆大賞(金の星賞) 「カラーメーター」 岡安茉莉花さん 埼玉県 栄東高等学校2年
◆優秀賞(銀の星賞) 「life times」 山本晴佳さん 栃木県 作新学院高等学校2年
「ネコジャンプのぼけん」 矢吹優衣さん 福島県 県立光南高等学校2年
「RESET」 土屋絵美さん 東京都 百合学園高等学校1年

この受賞者の表彰式は、12月26日(日)本学で開催される。

統計関連学会連合大会開催

早川 毅

2004年度統計関連学会連合大会は平成16年9月3日(金)より9月6日(月)までの4日間富士大学で開催された。参加学会は、日本計量生物学会、日本統計学会、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本分類学会、日本行動計量学会の6学会である。連合大会形式での開催は3回目である。大会は「データマネージメントのプロセスとシステム、臨床試験を例として」と言うチュートリアルセミナーで始まり、日本学術会議統計学研究連絡委員会主催のシンポジウム「事例中心に見る統計科学の現代的価値」が行われた。また、「統計データが示す地域経済活性化の方策」と言う題で市民講演会が開催され、多くの花巻、北上地区の市民や若

手県内の市町村の方々が参加した。この開催に際しては若手県総合政策室調査統計課、若手県花巻地方振興局、花巻市、花巻商工会議所、北上市、北上商工会議所の方々のご協力を得た事を大会実行委員会として感謝し上げる。

大会参加者は海外からの招待者を含めて680余名を数え、また参加者の大学数は100校にのぼった。280余の研究報告が一般報告と企画セッションに分かれて行われた。企画セッションでは「新しい環境における統計教育」、「医薬品開発における統計解析」、「ゲノムデータの解析」、「金融工学」、「統計学と保険」、「統計と会計」、「統計学とマーケティング」、「官庁統計学」等々の幅広い分野の報告、討論がなされた。この大会の目玉として、各大学の大学院生が自分の研究成果を報告して他大学の大学院生と競い合うコンペティションが行われ、

荒木由布子さん(九州大学)が最優秀賞を獲得した。

大会期間中に懇談会が催され、富士大学理事長、学長が出席し、花巻市長よりご挨拶を頂いた。また、カナダ、イスラエル、韓国、ドイツ、台湾の参加者から挨拶を頂き、挨拶の後に司会者が [Thank You], [Toda Raba], [Kamu Sa Ham Nida], [Danke Schön], [Xiè Xiè] とお礼を述べた。

4日間の大会は富士大学の全面的協力のもとに成功裏に終わる事ができ、来年の広島大学主催の大会にバトンを渡した。



広報 富士大学 ● 連絡先は広報室まで 原久雄(広報室長) 井手俊一(広報室課長) 小田桐憲仁(千葉夕里) E-mail kouhou@fui-u.ac.jp

FUJI UNIV. INFORMATION

広報

富士大学

2004.12.20 発行

大 学 院/経済・経営システム研究科
経済学部/経済学科・経営法学科・経営情報学科

〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL0198-23-6221 FAX0198-23-5818 http://www.fuji-u.ac.jp/

紫陵祭

テーマ 「健」～すこやか～



富士大学学園祭2004第38回紫陵祭が「健～すこやか～」をテーマに、台風の影響が心配される中で10月9(土)・10日(日)に開催された。模擬店と展示部門数は、昨年に比べ少なくなったが内容では充実していたようだ。例えば模擬店では留学生が作る本場の中華料理、「牛丼」、毎年恒例の「焼そば」「豚汁」「お好み焼き」など各店が工夫を凝らし、訪れた人々を楽しませていた。今年のスペシャルライブは、初日が「TATE&MA RKIE」、2日目が「BENNIE K」。台風を避け急遽681教室での開催となったが、観客との一体感で、賑やかで身近に感じる楽しいライブであった。また、その後の5大学対抗全早食い大会ではタレントの「ふじボン」がゲストで司会を務め、トークや新曲などで大いに盛り上げてくれた。閉会式の成績発表では、展示部門の学長賞に寒川尚周専門ゼミの「中国経済の成長」が、

模擬店部門の学生部長賞には渡邉幸良専門ゼミの「牛丼」が選ばれそれぞれに記念品が贈られた。天候には恵まれなかったが、参加学生全員の助け合う気持ちと行動で、とても温かな紫陵祭となった。



CONTENTS.....

- 紫陵祭
- 第2回日本学生陸上競技ジュニア選手権大会 女子5000m優勝
- 日本福祉工学会
- 研究者活動・成果
- 合同演習発表会
- 大学院講演会
- 富士大スポーツ
- 中学校教員本採用
- 富士大学花巻市民セミナー
- 留学生 日本語スピーチコンテスト参加
- OBから一言
- 父母懇談会
- 全国高校生童話大賞 第4回受賞者決定
- 花巻まつり
- 統計関連学会連合大会開催
- 入試日程



BENNIE K ライブ



フリーステージ(ソフトボール部ダンス披露)



ゼミ 模擬店部門

第2回日本学生陸上競技ジュニア選手権大会 女子 5000m 優勝 根城早織さん(4年)

平成16年9月27日～28日に神奈川県平塚市陸上競技場で開催された、第2回日本学生陸上競技ジュニア選手権大会において、本学の根城早織さん(4年)が女子5000mにおいて、見事優勝を飾りました。昨年のこの大会でも女子5000m競歩において、本学の田中久美子さん(4年)が優勝しましたが、今年も別種目ではありますが、タイトルをものにしました。5000m 優勝 根城早織(4年) 記録 17分09秒

■感想と抱負

今年の日本学生陸上競技ジュニア選手権大会では、昨年の2種目4位という結果を上回ることができ大変うれしく思っています。この大会で勝てたことは私にとって大きな自信となりました。しかし、あくまで通過点でありこの結果に満足することなく、もっと上を目指し新たな気持ちで日々鍛錬していきたいと思っています。

根城早織



日本福祉工学会

新世紀の社会を担う福祉工学のパラダイム構築と福祉産業のシーズ創生をめざす、第7回日本福祉工学会総会・学術講演会（会長　小山田了三富士大学学長）が、去る11月27日に富士大学を会場にして開催された。

小山田会長は、挨拶の中で「地域のニーズに応え、福祉の現場に応える実学重視の活動を発展させたい。」と述べ、学会の活動の方向を示唆した。交通機関に影響を与えるほどの荒天の中、全国各地から約100名の会員が参加し、9セッションで35の研究発表が行われ、福祉社会の進展を見据えて熱心な討論が展開された。岩手からは富士大学及び養護学校等の教員が一般講演で過去最多となる8本の発表を行った。

養護学校の現場から、障害のある生徒の焼き物作りのための補助具の開発に関する発表があり、これに対して富士大学の学生会員が「補助具の汎用性について」鋭い質問を行うなど、大会を盛り上げた。

特別講演では、岩手県立盲学校長 高橋榮幸氏が「岩手の特別支援教育」と題して岩手の盲・聾・養護学校に学ぶ子供たちの社会参加促進戦略について話し、参加した会員たちは現場の課題を聞き取ろうと熱心に耳を傾けた。



研究者活動・成果

自著紹介

『実践型レファレンス・サービス入門』（JLA図書館実践シリーズ1）
日本図書館協会 2004年7月 162P
ISBN4-8204-0413-X

教授 斎藤文男



公立図書館のレファレンス・サービスとは、簡単に言うと、利用者の「調べもの」に対して、訓練を受けた司書が、調査探索技術や現物調達能力を駆使して「お手伝い」する仕事です。

たいへん重要な仕事なのですが、いつも利用する図書館にそれが用意されていることに気づかない人や、知ってはいても使わない利用者も多く見受けられます。为什么呢？

そのような現状、そこから導かれる課題、それらへの具体的対策なども含めた、公立図書館のレファレンス・サービスのあり方を部としました。「資料提供としてのレファレンス・サービス」というタイトルの、図書館現場での基礎知識・概説にあたります。

Ⅱ部は、実際にあったレファレンス質問（50件）に対する探索プロセスの実際を、バリエーションの現役司書・藤村せつ子氏の丁寧明晰なアドバイスを付して提示しました。Ⅰ部の「レファレンス事例集の司書読み方」を援用して、個人研鑽としても使えます。藤村司書の感性を楽しむだけでなく、「とっさの一手」が確実にもノにできます。採録は、各地のレファレンス探検隊の「回答&コメント集」や、各図書館の「レファレンス事例集」、斎藤が個人的に収集したレファレンス記録を使用しました。

次の様なものです。（皆さんも試してみてください。）

37.米国の現職の州知事が一覧できる資料はありますか？

38.日本の食糧自給率の推移を、主要品目別に知りたい。

39.日本経済に関する専門の英字新聞はありますか？

40.銚子大淵にある佐藤春夫の詩碑の全文を知りたい。

47.「弘法にも筆のあやまり」というが、それじゃあ誤字は何？

48.華嚴の滝で自殺した藤村操の、樹幹に記した全文は？

49.奈良の大仏の頭のボツボツは何というの？いくつある？

50.自転車の2人乗り禁止の根拠法令の条文はどれかな？

読者は、先ず目次（質問要旨）を読んで、自館で10分くらいかけて調査した後、または頭の中で調査のシミュレーションが終わってから、個々の解説・プロセスと読み比べると効果的です。

藤村せつ子司書の「資料を提供するための基本レッスン」（pp.132-144）のアドバイスの添って、事例のプロセスや現物資料を確認していくと、臨場感豊かな個人研鑽となるでしょう。

巻末には、いわば「現役の司書たちは、どんな参考図書を使っているか」リストを添えました。棚揃えにも役立ちますし、実際に手にして吟味するガイドともなりましよう。

現役の図書館員、図書館学を学ぶ学生・社会人を意識して書きましたが、図書館をもっと知りたい利用者にも読んでもらいたいのので、ハンディで読みやすいように心がけました。

合同演習発表会

平成16年11月24日（水）、第18回専門演習合同発表会が開催されました。内容は、経済学科・経営法学科に分かれ、経済学科は、本学6号館631・641教室、経営法学科は、本学階段教室にてそれぞれ、実施しました。各ゼミ発表者とテーマを紹介致します。

■経済学科

I 古岡ゼミ

宮下結花さん「地域活性化に向けて～岩手県東和町の事例～」

II 古川ゼミ

十河瑞樹君「捕鯨に関する問題とその考察」

III 古川ゼミ

佐藤広幸君「ごみ問題—その指標と判断をめぐる—」

IV 梶村ゼミ

下佐友樹君「岩手の経済・産業振興の問題と対策」

V 影山ゼミ

江尻真美さん「90年代のアメリカ経済の景気拡大について」

VI 土田ゼミ

神智裕君「日本の自動車産業の成長と技術の進歩について」

VII 牧野ゼミ

越後貴由君「アジア間貿易の形成と展開—アジア経済のダイナミズム」

■経営法学科の部

I 高橋秀憲ゼミ 三田康智君「コンピュータと著作権—Winny事件を知るために—」

II 中野ゼミ

澤口洋平君

館 章人君

引木寿也君

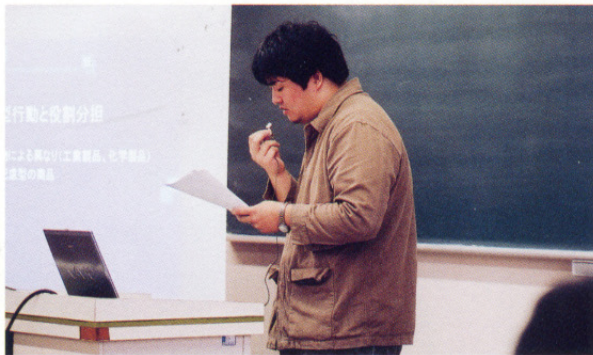
「国際連合の基礎知識」

III 藤田康雄ゼミ山田和利君

「日本におけるモータリゼーション」

IV 渡邊朝子ゼミ 柳原聡明君

「改正商法と資本取引に係る会計原則との関係」



大学院講演会

第5回富士大学大学院講演会が、11月17日水曜日、北上ワシントンホテルアネックスにて開催され、約80名の市民の方々が参加した。

今回の講演者は大学院の小林保美教授で、「税制の経済活動に及ぼす効果」という論題で進められた。この講演は1980年代のアメリカで実際にあった出来事を紹介しながら、アメリカにおける税制度を住民自身の手で変革をした画期的な事例を扱い、当時の主流派の経済理論に基づく制度変革とその住民の持つダイナミズムについての詳しい説明がなされた。

また、小林教授はくわしい完成論文を提示し会場に來られた方々に配布するとともに、講演後の北上市民の方々の多くの質問一つ一つに丁寧な受け答えをしていた。講演の内容自体についても大変力強いものがあり、会場に來られた方々は一様に感銘を受けて帰途につかれ、今回の講演会もたいへん盛況なうちに終了した。



FUJI UNIV. SPORTS CLUB

富士大スポーツ／大会結果報告

卓球部

第74回全日本大学対抗卓球選手権大会

平成16年8月5日（木）～8日（日）（京都府立体育館）

〈男子予選リーグ〉

富士大学 3-0 千葉商科大学

富士大学 1-3 近畿大学

〈男子決勝トーナメント〉

1回戦 富士大学 1-3 法政大学

〈女子予選リーグ〉

富士大学 3-1 明治大学

富士大学 0-3 大阪経済法科大学

〈女子決勝トーナメント〉

1回戦 富士大学 0-3 金城大学



東北学生秋季リーグ戦

平成16年8月23日（月）～25日（水）（宮城県スポーツセンター）

〈男子1部リーグ〉第4位

〈女子1部リーグ〉第3位

岩手県卓球選手権大会

平成16年9月25日（土）～26日（日）

（花巻市民体育館）

〈男子シングルス〉

南 克幸（3年） 優 勝

伊藤 考耶（1年） 第3位

〈男子ダブルス〉

南 克幸（3年）・伊藤 考耶（1年）組 優 勝

〈女子ダブルス〉

鈴木 祥恵（3年）・吉田 瑞江（2年）組 優 勝

（2年連続）

佐藤 苗（1年）・土田 美幸（1年）組 準優勝

高橋 清美（4年）・堀内理津子（2年）組 第3位

〈混合ダブルス〉

南 克幸（3年）・鈴木 祥恵（3年）組 優 勝

（2年連続）

伊藤 考耶（1年）・佐藤 苗（1年）組 準優勝

第71回全日本学生卓球選手権大会

平成16年10月7日（木）～10日（日）（愛知県体育館）

〈男子シングルス〉

1回戦 長谷川文康（4年）0-3 宮田章弘（早稲田大学）

稲葉 徹（2年）1-3 村井和弥（愛知工業大学）

南 克幸（3年）2-3 近田 武（北海学園大学）

〈男子ダブルス〉

1回戦 南 克幸（3年）3-2 小島博喜（中京学院大学）

伊藤 考耶（1年）3-2 小島史生（中京学院大学）

上野 明大（4年）3-2 金城克士（沖縄大学）

佐々木大樹（4年）3-2 大城義久（大城義久）

2回戦 南 克幸（3年）2-3 鈴木俊光（埼玉工業大学）

伊藤 考耶（1年）2-3 有本祐也（埼玉工業大学）

上野 明大（4年）0-3 荻原典和（大正大学）

佐々木大樹（4年）0-3 田野辺雄（大正大学）

〈女子シングルス〉

1回戦 吉田瑞江（2年）3-0 出畑あさみ（札幌大学）

鈴木祥恵（3年）3-1 米田佳代（香川大学）

2回戦 佐藤 苗（1年）1-3 長井小百合（日本体育大学）

吉田瑞江（2年）2-3 米田留美（中央大学）

鈴木祥恵（3年）0-3 井ノ口恵美（東京富士大学）

柔道部

第23回東北学生柔道体重別大会

平成16年8月28日（土）（宮城県宮道館）

〈男子〉

60kg級 高橋 平（4年）第3位

66kg級 吉田 樹史（2年）優勝（2年連続）

全日本学生出場決定

高崎 徹（1年）準優勝

全日本学生出場決定

81kg級 松田 裕樹（2年）優勝

全日本学生出場決定

100kg級 大槻 裕史（3年）準優勝

100kg超級 野辺地 宇大（4年）第3位

〈女子〉

48kg級 佐藤 清利奈（1年）第3位

52kg級 西村 友希（1年）第3位

57kg級 下平 朋子（1年）第3位

63kg級 後藤 澄江（3年）準優勝

70kg級 佐藤 郁美（4年）準優勝

78kg級 鍋持 まりこ（2年）優勝

第23回東北学生柔道体重別団体優勝大会

平成16年8月29日（日）（宮城県宮道館）

〈男子〉

決 勝 富士大学 4-1 秋田大学

（5年ぶり2度目）優勝

（全日本学生柔道体重別団体優勝大会出場決定）

全日本学生柔道体重別選手権大会

平成10年10月2日（土）～3日（日）（日本武道館）

〈男子〉

1回戦 60kg級

高橋 平（4年）蹴しぎし国○福岡 正章（東海大学）

1回戦 66kg級

高崎 徹（1年）○優勢 井本 明典（金沢学院大学）

2回戦 66kg級

高崎 徹（1年）優勢○伊藤 裕介（日本体育大学）

吉田 樹史（2年）優勢○戸川 博文（国士館大学）

1回戦 81kg

松田 裕樹（2年）優勢○山本 泰三（九州大学）

1回戦100kg級

大槻 裕史（3年）優勢○三木 啓伍（国際武道大学）

〈女子〉

57kg級 下平 朋子（1年）1回戦敗退

63kg級 後藤 澄江（3年）1回戦敗退

70kg級 佐藤 郁美（4年）1回戦敗退

78kg級 鍋持 まりこ（2年）1回戦敗退

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

平成16年11月6日（土）～7日（日）（尼崎市記念公園総合体育館）

1回戦 富士大学 0-5 龍谷大学

サッカー部

第29回東北地区大学サッカー1部リーグ戦

平成16年9月～10月（宮城県利府サッカー場）

第3位

第11回全日本クラブチームサッカー選手権

東北大会

平成16年9月18日（土）～20日（月）（山形県総合運動公園）

準決勝 富士大学 4-0 荒浜BEERS

決 勝 富士大学 2-1 中山SC

優勝（2年連続）

第84回天皇杯全日本サッカー選手権大会

平成16年9月23日（木）（盛岡南陸技場）

1回戦 富士大学 0-1 大分トリニータU-18



第11回全日本クラブチームサッカー選手権全国

決勝大会

平成16年10月30日（土）～11月2日（火）（富山県富山市総合上競技場）

1回戦 富士大学 5-1 因幡FC（中国・鳥取代表）

2回戦 富士大学 2-3 ACSC（北海道代表）

ベスト8

陸上競技部

第12回東北学生駅伝対校選手権大会

平成16年9月24日（木）（山形県白鳥町駅伝公認コース）

〈男子〉駅伝

総合第4位

〈女子〉タイムレース（5km）

個人総合 第1位 根城 早織（4年）16' 57"

総合第2位



第2回日本学生陸上競技ジュニア選手権大会

平成16年9月25日（土）～26日（日）（平塚市総合公園陸上競技場）

1500m 根城 早 織（4年）4' 32" 99 準優勝

5000m 根城 早 織（4年）17' 07" 90 優勝

5000mW 田中 久美子（4年）25' 27" 67 第4位

東北学生陸上競技選手権大会

平成16年10月2日（土）～3日（日）（宮城県上競技場）

1500m 横 田 拓也（1年）4' 05" 79 第3位

10000m 小 山 伸（3年）33' 04" 39 第9位

3000mSC 吉 田 雅裕（2年）9' 54" 36 第9位

砲丸投 佐 藤 宏一（2年）13m09cm 準優勝

準硬式野球部

東北地区大学準硬式野球秋季リーグ戦

（東北学院大学大笠神球場・宮城球場）

9月23日（木）富士大学 3-4 東北大学

9月26日（日）富士大学 2-1 東北学院大学

10月1日（金）富士大学 4-5 仙台大学

10月9日（土）富士大学 7-1 福島大学

10月11日（月）富士大学13-5東北薬科大学（8回コールド）

第3位

東北地区大学準硬式野球トーナメント

平成16年10月15日（金）～17日（日）

（多賀城市民球場・東北学院大学大笠神球場）

2回戦 富士大学 10-7 東北学院大学 工学部

準決勝 富士大学 0-7 青森大学

ハンドボール部

東北地区学生ハンドボール秋季リーグ戦

平成16年9月28日（火）～10月1日（金）（仙台市体育館）

1部リーグ 富士大学 20-23 東北学院大学

富士大学 21-12 東北福祉大学

富士大学 19-17 秋田大学

富士大学 21-28 仙台大学

富士大学 30-15 弘前大学

第3位

岩手県南秋季大会

平成16年10月9日（土）～10（日）（花巻総合体育館）

準決勝 富士大学 41-18 花巻送球会

決 勝 富士大学 23-19 花巻クラブ

優勝

硬式野球部

第14回岩手県JABA定期戦大会

平成16年9月7日（土）（西根運動公園野球場）

1回戦 富士大学 9-0 JR盛岡

決 勝 富士大学 6-4 JA岩手

優勝

北東北大学野球秋季リーグ戦

（花巻球場 他）

準優勝</